



序

治平哉天地聖鏡式圖氏

い清初武徳小寺

百廿歳

名村地嘉謀英雄乃

勝川春貴



2014.3.18



# 序

治平哉天地  
東之鏡式  
困民

い清のれ武  
徳尔と  
壽と  
以終

ちねさ  
凡千歳の今  
力ある

名將此知謀  
英雄乃血  
戦子卒

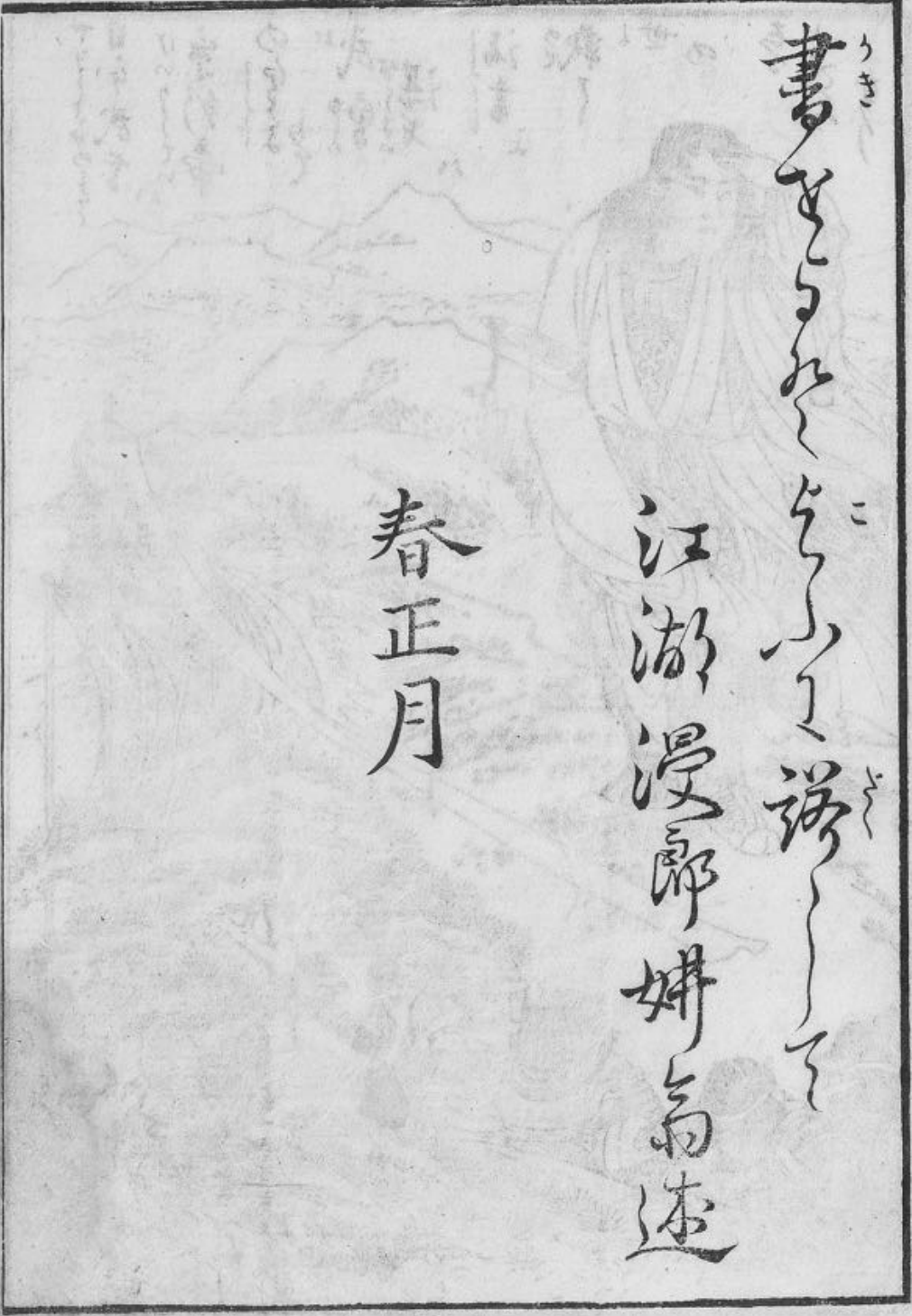
万苦の切  
勝川春章  
活筆に

骨づくして勇ゆう猛まう威いけ云え冊ふ子しも  
 下すの悪あく多ちと出す繪え本ほん威い武ぶ貴き山さんと  
 題だいして児こ童どうふししの事こともあつた  
 此この恭こう平へいの遊あそ戯び武ぶ息いけ廣ひろ大たいなる  
 幸さいふ可こ思しことと志し  
 米こめ花はなと其そのおる子こをちち成なりて

書うきをささららぬぬととししてて落おちちてて

江湖漫歸妍為述

春正月







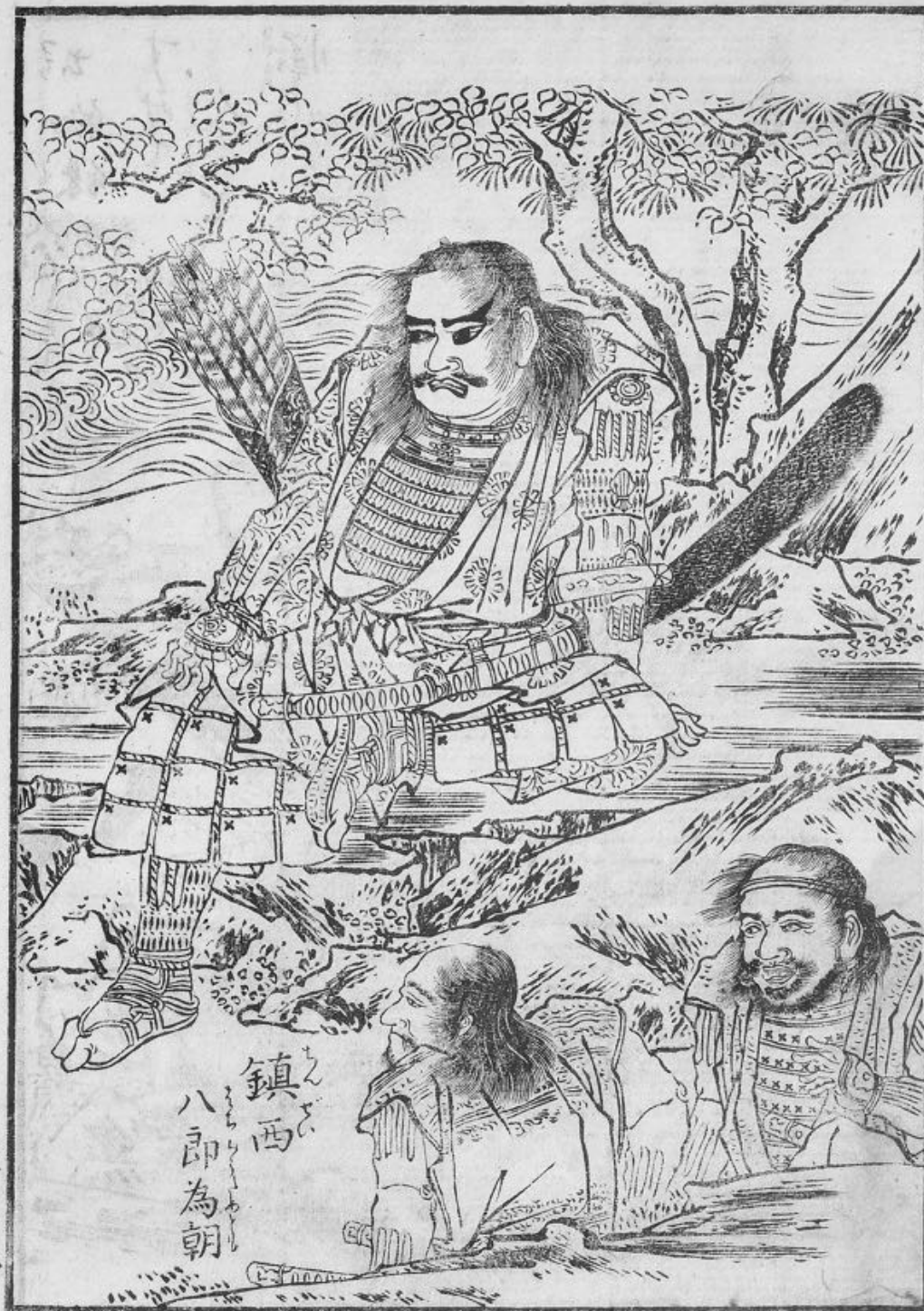
景行天皇  
 熊襲と  
 追討の  
 後紫  
 乃幸わ  
 あり小豊  
 前の国比  
 寔よ  
 大き  
 けり

上ノ  
 二



去る  
 物録  
 すめて  
 人民と  
 惛  
 神衰  
 一人  
 乃向て  
 退治  
 歳威

あがりのあらし





牛若丸



源義經  
清水寺  
弁慶  
出合  
終小  
義經  
妻

武藏坊弁慶





あべの 安部の負任  
赤死一丸  
一子千世 童子  
生年 十三  
父と死を  
同く見  
柵外  
切つて  
二尺五寸  
左か  
くん  
切つて  
三路六路  
路に挿

あべの  
安部  
千世  
童子



あべの  
安部  
千世  
童子



武彦坊女参



判官我短  
 奥刀(落)  
 突(れ)ハ  
 戸(握)之助  
 園(と)搦(ま)えん  
 汚(ら)る(武彦坊)入(る)も  
 人(と)狼(な)す(あ)し  
 唯一(人)園(正)お(む)じ  
 羽(足)指(と)ゆ(り  
 袂(斜)と(乞  
 園(と)を(あ)ざ  
 ひと(み)り  
 ひと(み)り



巧く  
 西の  
 月  
 法代  
 の  
 名  
 美  
 なる



建武  
 元年乃  
 秋大内  
 紫霞殿  
 の宗化  
 の宗化  
 鳴るの  
 とて二條  
 内陽波  
 廣者小  
 射さし  
 一丈六  
 ありて  
 大底二

曾我五郎

藤原

時致ハ

亡父の執

二孫左衛門

祐經と

又敵と

追て

程新此  
本陣よ



